

# おいずもイクボス共同宣言

8月21日に、役場（多庁舎）で「おいずもイクボスセミナー」が開催されました。会場関係者のほか、地元企業の代表ら26名が参加しました。

講師は、NPO法人ファザリング・ジャパンの代表理事である安藤哲也さんが務められました。現在、育児や介護を理由として働く場所や時間、従事する仕事内容など、様々な事情により働き方が限定される「制約社員」が7割いると言われており、生産年齢人口が減少する人材不足の時代において、多様な働き方など、仕事と家庭の両立が可能となる職場環境づくりが求められています。

セミナーでは、共働きが増え、家庭の姿が時代とともに変化してきており、夫が育児・介護や家事を行う必要性が高まっている現状や離職を防ぐためにも育休取得を否定しない姿勢、ボス自身の意識を変える必要性等が話されました。

このセミナーを受け、参加した社長の皆さんは、それぞれイクボス宣言をされ、それぞれの職場で働きやすい職場づくりを実践されます。

## おいずもイクボスセミナー開催



# おいずもイクボス共同宣言

令和5年8月21日



8月9日に奥出雲町内の企業・事業所の協力の下、合同研修と交流会が奥出雲町縁結びネットワーク協議会（会長 佐藤和彦）の主催で行われました。

町内でお勧めの方の出会いと交流を図り、尚且つ健康的な社会生活を送る人材育成を目的に企画されたものです。

講師にはフリーアナウンサーの「おがっち」と小片悦子氏を招き、職場での人間関係の多様性や複雑さが増す中で、相手を尊重しながら自己主張をするアサーティブコミュニケーションについて研修しました。

また、交流会は横田のワイルドッグランピング会場を移し、和やかな雰囲気の中開催され新たな出会いの場となりました。

## 奥出雲町内企業・事業所合同研修会&交流会



# 令和5年度全国高等学校総合体育大会ホッケー競技大会(インターハイ) 男子第86回・女子第65回全国高等学校ホッケー選手権大会

インターハイ ホッケー競技大会が、7月28日から8月2日にかけて北海道で開催されました。全国から男子28チーム、女子20チームが出場し、男子は準優勝、女子は3位という結果でした。



## 横田高校男子ホッケー部

# 準優勝

第2回戦から登場した横田男子ホッケー部は、順調に決勝戦まで駒を進めました。過去には令和3年に、雨天により決勝戦は行われず、準決勝の勝者である横田高校と福井県の丹生高校の2校が優勝となり、令和4年は、丹生高校と決勝戦で対戦し、横田高校が優勝を飾りました。

今回の決勝戦も、両校の対戦となり、第1クォーターでは、互いに攻め合う中、丹生高校がPSを獲得し、これを決め先制点を上げました。

第2クォーターでは、一進一退の攻防が続きましたが、丹生高校が追加点を獲得しました。横田高校は、PCを獲得しましたが、得点に繋がらず、終了間際に、丹生高校のさらなる追加点を許してしまいました。

第3クォーターでは、丹生高校がPCから4点を挙げ、さらに第4クォーターでも5点をタッチシュートで決め、横田高校は0-5で敗れました。

西村流希主将のコメント  
決勝戦では、ミスによる失点が重なりました。ミスからの失点を防ぎ、得点力を上げたいです。国体では、福井県にリベンジしたいです。



## 横田高校女子ホッケー部

# 3位

第2回戦から登場した横田女子ホッケー部は、第2回戦 準々決勝戦とも先制点を挙げ、1-0で準決勝へ進みました。

準決勝では、岐阜県の岐阜各務野高校と対戦し、第1クォーターでは、開始13分でPCから先制点を獲得しました。第2・第3クォーターでは、両チームとも守りが堅く、無得点で終わりました。

第4クォーターでは、岐阜各務野高校が立ち上がり連続で獲得したPCから得点し、同点となりました。その後、両チームとも追加点を獲得することができず、SO戦にもつれ込み、各務野高校のゴールキーパーの好セーブにより、1-4で敗れました。

準決勝で敗れてしまいましたが、横田女子ホッケー部は、高い目標に向かって日々努力をした結果として、5年振りの3位に輝きました。

林穂莉主将のコメント  
保護者や友人などの周りの方々から「頑張ったね」と言ってもらえましたが、とても悔しい結果でした。チャンスを決めきれず、ギリギリで勝ってきたので、得点力を高めたいです。

## JOCジュニアオリンピック 第53回全日本中学生ホッケー選手権大会

<8月19日から21日にかけて岡山県で開催>



横田中男子ホッケー部 宮本康樹主将  
仁多中男子ホッケー部 川西大翔主将

## 令和5年度全国中学校体育大会 第53回全国中学校剣道大会

<8月20日に愛媛県で開催>



仁多中剣道部 渡部魁斗さん  
横田中剣道部 高野悠真さん

男女ともに全国から24チームが出場し、仁多中男子、横田中女子は決勝トーナメント初戦敗退。横田中男子は決勝トーナメント2回戦敗退という結果となりました。

個人戦に96名が出場し、仁多中・渡部魁斗さんは初戦敗退、横田中・高野悠真さんはベスト16という結果となりました。

# 全国大会出場

8月10日に役場（多庁舎）で全国大会へ出場する団体の激励式が行われました。全国大会へ出場した団体の紹介と結果を報告します。

## 第2回 「知事と語る車座トーク」

人口減少に打ち勝つ島根をつくるために、県民の意見を直接聴いて、県民目線の県政運営を行うため、知事と県民の意見交換の場を設ける第2回「知事と語る車座トーク」が奥出雲町で行われ、丸山知事が三沢地区を訪れました。

三沢地区では、地区唯一のマーケットの撤退を機に「キャッチコピー『安心とチャレンジのみざわ』のもと、2019年から「小さな拠点づくり」をスタートし、「みざわ小さな拠点づくりの会」とNPO法人とも連携して、地域マーケット×高齢者サロン、移動販売×見守り活動といった取組を実施しています。このように、地域の生活機能を確保するため、地域とNPO法人の強みを活かし、協働で課題を解決している点が注目され、今回の訪問が決定しました。

知事は、ともに食堂とともにマーケットを視察された後、古民家オフィスみらいと奥出雲にて、懇談会が開かれました。懇談会には、みざわ小さな拠点づくりの会白根会長やNPO法人ともに吉川理事ら4名が出席し、活動内容を知事に説明しました。白根会長は、「高齢者が、若者のチャレンジを否定するのではなく、応援することで地域全体が元気になっていく」と三沢地区の特徴を話されました。



丸山県知事(最前列左から2人目)、糸原町長(最後列左から1人目)とみざわ小さな拠点づくりの会関係者の皆さん